

平成23年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

※ ◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。  
◆館の重点評価項目は、中心図書館が重点的に取り組んだ事業。

中心図書館名：白根図書館

区分	事業名	事業概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価(%は外部評価者の割合)	
課題解決型図書館	◇全館共通評価項目 ・レファレンスサービスの充実	・市民に身近な生活課題解決のため、レファレンス(調査・相談)サービスを充実させ、迅速かつ的確な情報提供を行う。	・レファレンス件数自体は昨年度及び目標数値を僅かながらも増加した。(H22:446件 目標:450件 H23:477件)	・「レファレンス」という言葉自体まだ馴染薄であるが、「何でも、お気軽にお尋ね下さい」の精神でPR・対応している。難解なケースではそれこそ何日もかけて取り組む姿も見受けられ、また簡易なケースであっても真摯に対応できたと思う。ただ、小人数体制においては、その負担は小さくはないように思われる。	1 大変評価する。63% 2 ある程度評価する。37% 3 評価できない。0%	・PR表示はあるが、目立たないのでは。「調査・相談」も堅苦しい、例を挙げ、具体的な例示を。 ・レファレンスという言葉が馴染にくいのでは。 ・忙しい中、関係書等調べてくれて、ありがとうございます。 ・努力には敬意を表する。引き続きPR・啓発を。
	◆館の重点評価項目 ・企画展示架、ミニ展示架等を駆使し、タイムリーな情報等の提供	・毎月、それ相応の仕掛け・準備も必要な企画展示架、短期間で小規模なミニ展示架、それぞれを駆使し、その時々話題、事象をタイムリーに取り上げ、利用者への情報提供・注意喚起に努める。	・企画展示については、毎月当番の館員が決めたテーマに添った展示を行うとともに、他の部署からの協力依頼にも対応するなど一定の役割を果たしたと思う。 ・男女共同参画週間に合わせた展示 ・コウ・ケンテツ氏講演会に合わせた展示	・企画展示においては他の部署の協力要請にも対応し、図書館の存在価値を高めることができたのでは。(実際、今年度も協力依頼あり。) また、ミニ展示架についても、その時々話題をタイムリーに取り上げることから、展示架の前に立ち止まり、本を借りていかれる姿が見かけられる。さらに工夫し、来館者も一目を置く展示架に近づきたい。	1 大変評価する。88% 2 ある程度評価する。12% 3 評価できない。0%	・季節等も考え、工夫されている様子がみられた。 ・話題性のある企画展示で、来館者にも好評である。 ・季節、行事、出来事、話題にあった工夫あり。その図書館の個性が表現できる。今後も期待します。 ・関連する本、記事がもつと多いと、一層興味が深まる。 ・一番先に目につくのは展示架。職員の努力が表れている。
分権型図書館	◇全館共通評価項目 ・地域資料の収集	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を実施する。	・南区に立地する図書館として、夙、農業関係について意識的に収集するように心がけている。その甲斐もあり郷土関係資料蔵書冊数は増加させることができた。 H22:6,185冊 目標:6,200冊 H23:6,385冊 貸出冊数は減少となったが、これは貸出禁止の資料が多いことも一因では。館内で閲覧されている方も少なくない。	・夙関係資料は、絶対数からも蔵書の大幅な増加は難しいと思われるが、「大夙と歴史の館」も本は増えていないとか 今後も地道に努力したい。農業関係資料も様々な視点から選書に取り組んでいる。利用されることが肝心で、先日も若い農業の方に利用を呼び掛けたところ、「仲間にも話してみよう」と。今後も潜在需要の掘り起こし、PRに努めたい。	1 大変評価する。33% 2 ある程度評価する。67% 3 評価できない。0%	・資料が少ない中、蔵書が増えているのは素晴らしい。情報が口伝で広がっていくことも評価する。 ・夙関係は収集済みで、拡大は困難？若い農業者へのPRはとても良い。 ・夙の各組によっては秘伝もので、収集は今後も困難では。 ・貸出禁止資料の再考も。 ・熟年対象に家庭菜園ものは。
	◆館の重点評価項目 ・白根図書館協議会との連携強化	・分権型図書館理念の根幹でもある図書館協議会、その活性化と連携の強化を図る中で、「南区の特色を生かした図書館、その運営とは」を模索し、少しでも理念に近づきたい。	・今年度白根図書館協議会は、中央図書館での合同会議を含め年3回の会合をもった。うち合同会議の際は、南区からマイクロバスを出してもらい、委員の多くの参加を得て図書館関連施設等見学を実施。これにより、交通の便に恵まれない南区からの、合同会議(午後)への参加者確保にも寄与できたのではと思える。 23年度 巻図書館・東区プラザ図書室 見学	・合同会議を含め、3回の会議で活発な議論を展開していただいた。関連施設見学での共通の見聞、委員間の交流、そして中央図書館での合同会議における他の協議会との交流等が活発な議論の誘因となったのでは。また協議会で議論された読書会の活性化が、その後の友の会での議論と相まって、新年度具体化されるに至った。	1 大変評価する。78% 2 ある程度評価する。22% 3 評価できない。0%	・連携強化の効果あり。施設見学も継続していただきたい。 ・他の図書館へ行ってみたくても、簡単ではない。皆さんで見学しての意見交換は有意義です。 ・他の図書館等を見学できることは意義深く、参考になります。これからもどんどん見学したいです。
学・社・民融合型図書館	◇全館共通評価項目 ・ブックスタートの実施	・1歳誕生歯科健診会場において、赤ちゃんと保護者に絵本の読み聞かせを体験していただく「ブックスタート」を実施する。	・4/11、ブックスタート開始まで様々なトラブル等が想定され、相当な緊張感をもって臨んだ。しかし、ボランティアさん、保健関係者の連携・協力もあってか、思いのほか順調に進行し、無事完了することができた。その後も、大きな支障もなく一年間実施できた。	・前年度を準備期間として、担当者を中心に中央図書館、実行委員会と連携し、周到に準備を進めたことが下地となり、加え毎回終了後実施した意見交換会での改良点への早め、早めの対応がより一層のスムーズな進行を維持させたと思う。ただ、真価を問われるのはこれからだ。	1 大変評価する。100% 2 ある程度評価する。0% 3 評価できない。0%	・南区のブックスタートに寄せる思いが強く感じられた。 ・担当者の尽力で素晴らしい企画、実践となった。今後も強固な連携体制でチャレンジしていただきたい。 ・多くの保護者から喜んでもらった。図書館利用にもつながることを期待する。 ・関係者の努力に感謝。将来の子ども達に期待します。
	◆館の重点評価項目 ・学校図書館支援センター2年目の取組推進	・白根図書館学校図書館支援センターは設置2年目となる。気持ちを新たに、今年度も積極的に取り組むたい。具体的には、南区に加え秋葉区も受持つ事態への対応と、市総合教育センターとの共催による「学校図書館活用研修会」の地元開催。	・前年度、苦労して開拓した南区に加え、今年度からは秋葉区も担当に。そして、学校図書館活用研修の地元開催も控えるという前途多難な船出となった。早めの仕掛けに徹し、秋葉区教育事務所・校長会への挨拶、説明とその後の学校訪問。研修会については前年度実施センター、中央図書館等から助言等いただき、講師との打ち合わせ等精力的に行い、いずれも順調に実施できたと思う。 7/27学校図書館活用研修会 教諭・司書43名参加	・果たして受け入れてもらえるのか？と不安もあったが、早めに秋葉区の教育事務所、校長会と挨拶、説明を行い、実際学校訪問に向くとその不安は徐々に取り除かれていったように思える。司書さんはもちろん、学校もやはり待っていてくれたようだ。その後開催した学校図書館活用研修会へ、南区、そしてこの秋葉区からも多くの先生、司書さんたちが参加してくれたこと、それが物語ってくれているのでは。	1 大変評価する。75% 2 ある程度評価する。25% 3 評価できない。0%	・有意義な実務研修で、学校図書館の活性化が図られている。司書相互の連携体制も強まっている。 ・支援センターが有る無しでは不公平と懸念していたので、大変よかった。しかし、搬送の窓口が白根ではなく、不便さも。理想は一つの区に一つの支援センターではないか。 ・地元南区だけでなく、秋葉区もですね。すごいことです。
パートナーシップ型図書館	◇全館共通評価項目 ・共催事業の実施	・市民との協働をいっそう推進するためボランティア・教育機関や民間団体と連携して事業を行う。	・市民との共催事業としては、しろね図書館友の会との共催が中心となり、今年度も文化講演会、読書会を共催事業として実施した。また読み聞かせボランティアさんの協力を得て夏の「こわ〜いおはなし大会」なども実施し、子どもさんたちで賑わった。講演会:11/13「わらべうたで遊ぼう」近藤信子氏	・講演会は実技？もあり、ご家族連れ、図書館関係者、友の会々員等入り乱れての盛況なものとなった。次の講演会のリクエストも託される場面も。読書会は友の会総会でも議論され、全面的な支援が決議され、新年度から新手法で実施される運びに。	1 大変評価する。89% 2 ある程度評価する。11% 3 評価できない。0%	・講演会、読書会ともに盛会であったようでうれしい。友の会との連携を強め、さらに発展させてほしい。 ・友の会メンバーもそれほど多くはないが、図書館を心から応援したいと思う人達が集まっている。 ・人集めはPRが大事。広報紙、区役所あらゆる場所にポスターを貼るのも効果ありと。
	◆館の重点評価項目 ・南区のボランティア団体の交流促進	・長年の懸案事項でもあった、南区内の読み聞かせボランティア団体の交流を促進すべく、準備を進めたい。	・懸案であった、区内の読み聞かせボランティア団体の交流会を企画し、実施した。 10/15「南区ボランティア交流会」3団体 5名 参加	・10/15 初めての交流会を実施。何で今まで実施しなかったのかということには、それなりの経緯・理由もあるようだ。各団体も情報を共有することには異論があるわけがなく、図書館側も諸事情の詳細まで知らないということもむしろ強みとし、他団体の確認を含め、新しく構築していくのも一つの方法か。 とにもかくも、初めて開催し、交流できただけでも大きな一歩前進と考える。これからだ！	1 大変評価する。56% 2 ある程度評価する。44% 3 評価できない。0%	・団体交流がスタートできたことは素晴らしい。2回目の実施をめざしてほしい。 ・全グループの参加にはならなかったが、図書館がそれぞれの活動内容を把握していれば、毎年行う必要はない。 ・これからも、ずっと継続してほしい。